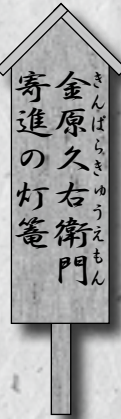


東区

街道を

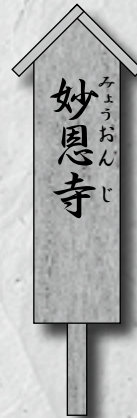
ゆく



金原明善翁の父、金原久右衛門氏が天保15（1844）年に安間村の安全を祈願して奉納した灯籠が八柱神社の鳥居脇（写真左）と参道途中（写真右）にあります。八柱神社は安間郷の氏神です。安間郷は、現在の安間町、安新町、薬師町、北島町にあたります。



このコーナーでは、東区の街道周辺の史跡や文化を伝える資源解説板などを紹介します。



日蓮宗の古刹。応長元（1311）年開創。将軍からの朱印状や制札などが宝物殿に納められています。境内には、家康公お手植えの柘植の木や高柳健次郎氏の墓、金原明善翁の供養塔などがあり、明善翁の命日の1月14日には明善祭が行われています。武田軍との戦いで家康公をかくまい、命を助けた寺としても知られています。家康公は寺で供された食事のお礼に、お椀に箸をのせた様を形どった「丸に二引」の紋を寺に授けました。



東区協議会だより

Vol. 78

10月23日(水)、第8回東区協議会が出席委員19人で開催されました。

協議事項について

東区協議会推薦会の設置について

東区振興課から説明があり、協議会委員から7人を推薦会委員に選出することで、承諾を得ました。

今後における高齢者福祉施策のあり方について

① 高齢者福祉課から説明がありました。高齢者を取りまく状況の変化により、立場の弱い高齢者や不安を抱える高齢者が増加しており、これへの対応が急務となっている。今後、十年先を見据え、弱い立場にある高齢者を支援する要介護者対策に重点的に取り組む。

◆ 重点事業
◎ 特別養護老人ホームの整備
◎ ロコモーションコントロールニング（要介護状態を予防する簡単なトレーニング）の普及

◆ 関連事業
◎ ボランティアポイント制度の導入
◎ 市単独高齢者大型給付事業の見直し

厳しい行財政状況下では、課題対応のために新たな財源を捻出することは難しく、限られた財源を効率的に配分する必要があります。市単独高齢者大型給

付事業を現在の社会情勢と照らし合わせる中で見直しを行い、その財源を再配分する。

◎ バス・タクシー等の交付、敬老祝
金・祝品の贈呈、敬老会の補助
（委員からの質問）

Q 今までもらえていたものがもらえなくなると、世代間で不公平感が生じる。70歳になると必ずお祝いがもらえるなどの制度を検討してほしい。

A 敬老会の対象年齢の引き上げを行ったが、これは平均寿命の延びなど社会情勢に合わせた体系づくりである。バス・タクシー券については、制度そのものをどうするかまで踏み込んで見直しを検討している。

Q 敬老会の開催に携わっている立場からすると、敬老会補助が1人あたり2千円から千円になると、開催が厳しい。関係機関と調整とあるが、どこを調整するのか。

A 今後、実情を踏まえて対象年齢と金額を検討する。浜松市自治会連合会の教育福祉部会を中心に調整する。

Q ロコモーションコントロールニングはどのように普及させていくのか。

A 現状、通所型で三百人程度の規模を一万規模に拡大する。出来る限り早い時期からモデル地区を定め、普及を図る。その結果を踏まえ、全市域へ普及させていきたい。